

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東洋理容美容専門学校
設置者名	学校法人東洋理容美容学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	理容科	夜・通信	270 時間	160 時間	
	美容科	夜・通信	240 時間	160 時間	
衛生専門課程	美容修得者理容科	夜・通信	90 時間	80 時間	
	理容修得者美容科	夜・通信	90 時間	80 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ <a href="https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/kakugakkanado.pdf">https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/kakugakkanado.pdf</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東洋理容美容専門学校
設置者名	学校法人東洋理容美容学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ <a href="https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/yakuinmeibo.pdf">https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/yakuinmeibo.pdf</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	千葉県議会議員	2019/8/1 ~ 2023/7/31	経営計画の策定
非常勤	会社経営(理・美容室)	2019/8/1 ~ 2023/7/31	財務 経営計画の策定
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東洋理容美容専門学校
設置者名	学校法人東洋理容美容学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>厚生労働大臣認可の理容師美容師養成施設であるため、教科科目についてそのほとんどは理容師美容師養成施設指定規則に則って履修している。本校では教育課程編成委員会を設置し、その意見・要望の多くを自由裁量度の高い選択科目に反映させている。</p> <p>各科目の授業計画は担当教員との会議を開催し、計画及び評価方法を作成している。</p> <p>公表時期は前年度末までにホームページに掲載し、生徒が閲覧できるようにしている。</p>	
授業計画書の公表方法	ホームページ <a href="https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/kakugakkanado.pdf">https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/kakugakkanado.pdf</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>授業科目への出席率 85%以上を原則とし、かつ国家試験学課科目は筆記試験を実施。及第点を60点以上(100点満点)、及第点に満たない場合は追試験、補習授業を行っている。</p> <p>実技形態の科目は実技試験を実施。学課科目と同様に及第点を60点以上(100点満点)、及第点に満たない場合は追試験、補習授業を行っている。</p> <p>その他、選択科目については出席率、課題作業等に学修成果を評価し、成績を判定している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>1年間を3学期に分けて授業展開し、1、2学期は期末試験、1年次3学期は年度末試験、2年次3学期は卒業試験を実施している。定期試験ごとに全課目合計点の平均を算出し順位を出すと共に、100～90点をS、89～80点をA、79～70点をB、69～60点をC、59以下をDとして成績の分布状況を把握している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページ  <a href="https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/kakugakkanado.pdf">https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/kakugakkanado.pdf</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定基準は厚生労働省の承認を受け、その内容は担任により生徒に周知し、ホームページにも公表している。卒業認定は、校長、教頭、教務主任、学科主任による卒業認定会議を開催している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページ  <a href="https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/kakugakkanado.pdf">https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/kakugakkanado.pdf</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東洋理容美容専門学校
設置者名	学校法人東洋理容美容学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ <a href="https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/zaimugaiyo.pdf">https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/zaimugaiyo.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	ホームページ <a href="https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/zaimugaiyo.pdf">https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/zaimugaiyo.pdf</a>
財産目録	ホームページ <a href="https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/zaimugaiyo.pdf">https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/zaimugaiyo.pdf</a>
事業報告書	ホームページ <a href="https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/zaimugaiyo.pdf">https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/zaimugaiyo.pdf</a>
監事による監査報告（書）	ホームページ <a href="https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/zaimugaiyo.pdf">https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/zaimugaiyo.pdf</a>

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	理容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,010 単位時間	660 単位時間	0 単位時間	1,290 単位時間	0 単位時間	60 単位時間
			2,010 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		34人	0人	6人	8人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>厚生労働大臣認可の理容師美容師養成施設であるため、教科科目についてそのほとんどは理容師美容師養成施設指定規則に則って履修している。本校では教育課程編成委員会を設置し、その意見・要望の多くを自由裁量度の高い選択科目に反映させている。</p> <p>各科目の授業計画は担当教員との会議を開催し、計画及び評価方法を作成している。</p> <p>公表時期は前年度末までにホームページに掲載し、生徒が閲覧できるようにしている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>1年間を3学期に分けて授業展開し、1、2学期は期末試験、1年次3学期は年度末試験、2年次3学期は卒業試験を実施している。学課の単位取得と同様に定期考査においても及第点を60点以上(100点満点)、及第点に満たない場合は追試験、補習授業を行っている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>本校の教育理念に則り、理容師・美容師として健全な社会生活を営むために必要な態度と能力を身につけた者に卒業を認定する。</p> <p>具体的には、本校の必修科目・選択科目のすべての単位を修得する。単位認定は出席率、成績評価に基づく。進級においても同様に判断する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制を整え、生徒一人ひとりを把握し必要な指導を行っている。</p> <p>学習指導はもとより、生活指導・進路指導に至るまで丁寧に教職員がアドバイスし、総合的にサポートしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15人 (100%)	0人 (0%)	15人 (100%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等) 理容所
(就職指導内容) 業界人による理容業界の説明会、就職担当者によるカウンセリング
(主な学修成果(資格・検定等)) 理容師国家試験受験資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	1人	2.6%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) カウンセリング、保護者連絡、三者面談		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,010 単位時間	660 単位時間	0 単位時間	1,290 単位時間	0 単位時間	60 単位時間
			2,010 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
480人		428人	0人	14人	17人	31人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>厚生労働大臣認可の理容師美容師養成施設であるため、教科科目についてそのほとんどは理容師美容師養成施設指定規則に則って履修している。本校では教育課程編成委員会を設置し、その意見・要望の多くを自由裁量度の高い選択科目に反映させている。</p> <p>各科目の授業計画は担当教員との会議を開催し、計画及び評価方法を作成している。</p> <p>公表時期は前年度末までにホームページに掲載し、生徒が閲覧できるようにしている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>1年間を3学期に分けて授業展開し、1、2学期は期末試験、1年次3学期は年度末試験、2年次3学期は卒業試験を実施している。学課の単位取得と同様に定期考査においても及第点を60点以上(100点満点)、及第点に満たない場合は追試験、補習授業を行っている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>本校の教育理念に則り、理容師・美容師として健全な社会生活を営むために必要な態度と能力を身につけた者に卒業を認定する。</p> <p>具体的には、本校の必修科目・選択科目のすべての単位を修得する。単位認定は出席率、成績評価に基づく。進級においても同様に判断する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制を整え、生徒一人ひとりを把握し必要な指導を行っている。</p> <p>学習指導はもとより、生活指導・進路指導に至るまで丁寧に教職員がアドバイスし、総合的にサポートしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
139人 (100%)	0人 (0%)	133人 (96%)	6人 (4%)
(主な就職、業界等) 美容所、ネイルサロン、エステサロン			



(就職指導内容) 業界人による美容業界の説明会、就職担当者によるカウンセリング
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師国家試験受験資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
378人	24人	6.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) カウンセリング、保護者連絡、三者面談		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容修得者理容科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1,020 単位時間	120 単位時間	0 単位時間	900 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,020 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		0人	0人	6人	0人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>厚生労働大臣認可の理容師美容師養成施設であるため、教科科目についてそのほとんどは理容師美容師養成施設指定規則に則って履修している。本校では教育課程編成委員会を設置し、その意見・要望の多くを自由裁量度の高い選択科目に反映させている。</p> <p>各科目の授業計画は担当教員との会議を開催し、計画及び評価方法を作成している。</p> <p>公表時期は前年度末までにホームページに掲載し、生徒が閲覧できるようにしている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>1年間を3学期に分けて授業展開し、1、2学期は期末試験、1年次3学期は年度末試験、2年次3学期は卒業試験を実施している。学課の単位取得と同様に定期考査においても及第点を60点以上(100点満点)、及第点に満たない場合は追試験、補習授業を行っている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>本校の教育理念に則り、理容師・美容師として健全な社会生活を営むために必要な態度と能力を身につけた者に卒業を認定する。</p> <p>具体的には、本校の必修科目・選択科目のすべての単位を修得する。単位認定は出席率、成績評価に基づく。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制を整え、生徒一人ひとりを把握し必要な指導を行っている。</p> <p>学習指導はもとより、生活指導・進路指導に至るまで丁寧に教職員がアドバイスし、総合的にサポートしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 理容所			

(就職指導内容) 業界人による理容業界の説明会、就職担当者によるカウンセリング
(主な学修成果(資格・検定等)) 理容師国家試験受験資格
(備考) (任意記載事項) 前年度在籍者がいませんでした

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) カウンセリング、保護者連絡、三者面談		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	理容修得者美容科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1,020 単位時間	120 単位時間	0 単位時間	900 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,020 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		0人	0人	14人	0人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>厚生労働大臣認可の理容師美容師養成施設であるため、教科科目についてそのほとんどは理容師美容師養成施設指定規則に則って履修している。本校では教育課程編成委員会を設置し、その意見・要望の多くを自由裁量度の高い選択科目に反映させている。</p> <p>各科目の授業計画は担当教員との会議を開催し、計画及び評価方法を作成している。</p> <p>公表時期は前年度末までにホームページに掲載し、生徒が閲覧できるようにしている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>1年間を3学期に分けて授業展開し、1、2学期は期末試験、1年次3学期は年度末試験、2年次3学期は卒業試験を実施している。学課の単位取得と同様に定期考査においても及第点を60点以上(100点満点)、及第点に満たない場合は追試験、補習授業を行っている。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>本校の教育理念に則り、理容師・美容師として健全な社会生活を営むために必要な態度と能力を身につけた者に卒業を認定する。</p> <p>具体的には、本校の必修科目・選択科目のすべての単位を修得する。単位認定は出席率、成績評価に基づく。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制を整え、生徒一人ひとりを把握し必要な指導を行っている。</p> <p>学習指導はもとより、生活指導・進路指導に至るまで丁寧に教職員がアドバイスし、総合的にサポートしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 美容所、ネイルサロン、エステサロン			

(就職指導内容) 業界人による美容業界の説明会、就職担当者によるカウンセリング
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師国家試験受験資格
(備考) (任意記載事項) 前年度在籍者がいませんでした

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) カウンセリング、保護者連絡、三者面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理容科	150,000 円	612,000 円	372,000 円	
美容科	150,000 円	612,000 円	372,000 円	
美容修得者理容科	150,000 円	612,000 円	432,000 円	
理容修得者美容科	150,000 円	612,000 円	432,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/jikohyouka.pdf">https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/jikohyouka.pdf</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 理容美容業界、卒業生、生徒保護者により委員会を構築し、各種の資料の検証や、学校の諸活動の観察等を通じて、当該年度の学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の方策について評価する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社マルサン	2021. 10. 1～2023. 9. 30	企業等委員
株式会社デイバイデイ	2021. 10. 1～2023. 9. 30	企業等委員
東洋理容美容専門学校後援会	2021. 10. 1～2023. 9. 30	卒業生
東洋理美同窓会	2021. 10. 1～2023. 9. 30	P T A
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/gakkouhyouka.pdf">https://www.toyoribi.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/gakkouhyouka.pdf</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)  
<https://www.toyoribi.ac.jp/>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	東洋理容美容専門学校
設置者名	学校法人東洋理容美容学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		78人	71人	79人
内 訳	第Ⅰ区分	47人	39人	
	第Ⅱ区分	20人	22人	
	第Ⅲ区分	11人	一人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				79人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に 連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人



年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	一人
計	人	0人	一人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。